

概要

【農業】

愛知県では、海拔0m地帯から700mの山間地域までの多様な自然条件、名古屋市等の大消費地に近いという地理的条件を生かし、それぞれの地域で特色ある農業が営まれています。農業産出額は3,210億円で全国6位を誇り、野菜や花き、畜産の生産が盛んです。

特に、花きの産出額は1962年以降、全国1位を維持し続ける“花の王国”であり、「きく」や「バラ」、「洋ラン」等、全国1位の生産を誇る品目が多くあります。

【林業】

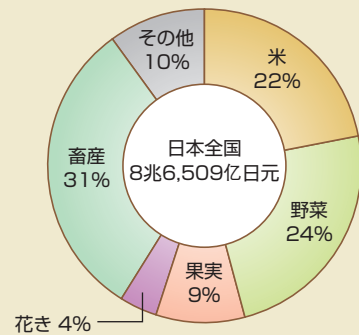
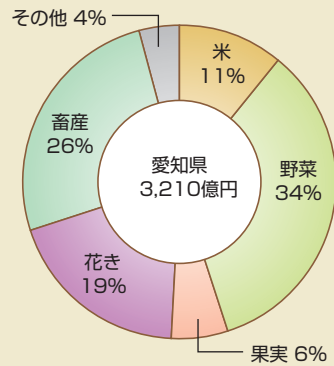
愛知県の森林面積は、県全体面積の43%にあたる22万haです。そのうち人工林が占める割合は64%で、全国平均(46%)を大きく上回って全国3位です。また、46年生以上の森林の占める割合は73%で、全国平均(56%)と比べても多く、森林資源が充実しています。

また、本県は全国有数の木材の流通・加工の拠点地でもあります。

【水産業】

愛知県の水産業は、豊かな海と各地の河川、養殖池等で営まれ、全国1位の生産量を誇る「あさり類」を始め、“県の魚”でもある「くるまえび」や「うなぎ」、「あゆ」、「金魚」の養殖等、多くの魚種で全国有数の産地となっています。本県では、水産資源を持続的に利用するため、種苗放流等の資源の再生産と漁獲のバランスを図る資源管理型漁業を推進しています。

農業産出額の作目別構成比



全国有数の農業産出額を誇る愛知県ですが、全国と比較すると、野菜や花きの産出額の割合が高くなっています。また、ガラス室やビニールハウスを利用した施設園芸が特に盛んなのが特徴です。

(統計数値は2008年実績)

県内各地域の農林水産業

平坦部（尾張地域）

木曾川の豊かな水や肥沃な土壌に恵まれ、古くから野菜の栽培が盛んな地域です。都市近郊という立地条件を活かし、様々な野菜や果樹、花きが生産、供給されています。また、緑化樹木や庭園樹木、花木、グランドカバープランツ等の総称で呼ばれる“緑化木”の生産が盛んな地域です。木曾川河口域では、金魚の養殖が盛んに行われており、全国有数の生産地となっているほか、木曾川水系では、「アユ」を中心とした漁業、遊漁が行われています。

山間部

愛知県の主要な木材産地を形成しているこの地域は、古くからの林業地であり、「スギ」や「ヒノキ」が積極的に植林されたことから、現在は豊かな森林資源に恵まれています。「スギ」は光沢のある赤みと美しい木目が特徴で内装材に適しており、また、「ヒノキ」は淡いピンク色と優れた光沢があり、住宅の柱等に使われています。「スギ」、「ヒノキ」ともに曲がりやが少なく、年輪幅が均一であり優れた性質を持っています。また、最近では木材生産量を増やすため、高性能林業機械の活用等を推進しており、効率的・低コストな施策の実施に取り組んでいます。また、冷涼な気候を活かして野菜や花きの生産が行われているほか、「アユ」や「アマゴ」を中心とした漁業や遊漁、山間部の水温の低い河川水を利用したマス類の養殖が行われています。

海

伊勢湾や三河湾には、木曾三川、矢作川、豊川からもたらされる豊富な栄養分と発達した干潟があり、小型底びき網漁業、さし網漁業、採貝漁業、のり養殖業等の沿岸漁業が盛んに行われています。また、遠州灘は、緩やかな大陸棚が広がり、小型底びき網漁業や船びき網漁業の好漁場になっています。

平坦部（三河地域）

温暖な気候と豊川、矢作川等の豊かな水源に加え、交通網の整備等により多種多様な農業が営まれており、全国屈指の農業地域となっています。「キャベツ」や「きく」等の本県を代表する農産物を始め、様々な野菜や花き、緑化木等が栽培されていますが、特に施設園芸が発展し、野菜や花きの多くはガラス室やビニールハウス等の施設内で栽培されています。また、一色町や豊橋市を中心にうなぎ養殖が営まれており、全国有数の生産地となっています。

